

令和4年度 第3回清瀬市男女平等推進委員会 議事録

日 時：令和4年11月18日（金） 午前10時～正午

会 場：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：橋本委員長 近藤副委員長 佐藤（眞）委員 松村委員 佐藤（良）委員
原田委員 鈴木委員 松本委員 山口委員 田村委員

欠席者：内野委員 長沼委員

事務局：企画部男女共同参画センター

◎⇒委員からの発言

■議題

- 1.各グループより評価についての報告
- 2.担当外への意見・第三者評価総論に入れたい事項など

1-1～1-2 全体について

◎商工会との連携についてであるが、男女共同参画センターから積極的に働きかけてほしい。もう一点、「ことりば」に対する評価であるが、「ことりば」という場があることで、講座なども実施しているようだが、もう少し踏み込んだ取組みはできないか。

1-2-3-1 職員課 女性職員の活躍推進に向けた取組み

◎女性の職員の登用・介護休暇についてだが、職員課の自己評価Bだが、目標に対する齟齬がある。皆さんの意見を伺いたい。

◎この項目について委員評価はCでよいのではないか。1-2-3-1の回答が「女性職員のため」という感じではなく「全職員」が対象となっているので、事業内容とずれていると思う。女性活躍推進に向けた取組みとは思えない。

◎「女性職員の活躍推進」の題目で、「ワーク・ライフ・バランス研修をした」という回答は違うと思う。

事務局：昨年度は女性係長向けのキャリアステップサポート研修を実施している。そういった研修を書いてもらった方が良かった。職員課にコメントにて意見を伝えるのはどうか。

1-3-1-4 子育て支援課 保育園の充実

◎ひとり親でも働いていても子育てしやすいかという観点から評価した。待機児童がいるので、評価はBとした。

1-3-1-5 生涯学習スポーツ課 子育てする親のネットワークの充実

◎プランを見ると、「父親の集う場所を充実させる」ことが事業内容なので、それは取り組んでいないので、評価はDとした。

さらに、1-3-1-8 生涯学習スポーツ課 親子の居場所づくりの充実と実施状況が同じ回答である点も気になる。

2-1 全体について

◎広範囲な評価であるが、自己評価と委員評価が一致した箇所が多かった。

2-1-1-8 障害福祉課 障害者に対するDV等の学習啓発と相談の充実

◎サービス事業者における障害者虐待研修内容のことが回答で書かれていたが、研修内容の協議はこのプランの事業内容に関わると思うが、障害者自身や周りの家族に情報提供することが重要なので、評価はBをつけた。

2-1-2-3 生活福祉課 被害者の自立支援の充実

◎要保護女性の自立の支援が事業内容であるが、「相談員が相談関係機関への研修に参加した」と回答しており、どのような効果があったのかを書きたくていただきたい。全体的に具体的に何をしたのかが、回答に書かれていないことが多かった。

2-1-2-5 男女共同参画センター 被害者の回復と自立のための相談

◎性別に関係なく相談は受けられるのか。

◎DV相談は、女性被害者への対応が多い。男性も受け入れるとなると、加害者が来てしまうことが多い。男性相談員も少ない。加害者への対応は課題である。

事務局：男性からの一般的な相談は電話で受けている。男性からの相談は加害者が多いと聞いている。男性からのDVについての相談は課題とは認識している。

2-2-1-3 健康推進課 健康診査の普及と推進

◎未受診者の個別通知やポスターを配布したようだが、この回答では、どれだけ効果があったのかわかりづらい。

2-2-1-8 生涯学習スポーツ課 生涯スポーツの推進

◎アスリートの講演会を開催したようだが、この項目は生涯スポーツの推進なので、高齢者向けの事業も記載がなかったので、評価はCとした。

2-2-2-4 男女共同参画センター 性と生殖における健康と権利の啓発

◎「図書を配架した」で終わっているなので、市内の図書館と連携するなどもう少しやらなければいけないことがあるのではないかな。

2-3-1-1 男女共同参画センター 性的マイノリティに関する啓発の充

実・2-3-1-2 男女共同参画センター 性的マイノリティに関する自治体制度の研究

◎この二つは多様な性のあり方への分科会に当事者として参加した。自信をもって評価はAとした。

2-3-1-4 職員課 性的マイノリティに関する研修の実施

◎実施状況が市民生活にどう反映されていくかわかりにくいだが、評価はBとした。見える化に努めてほしい。

2-3-3-5 障害福祉課 支援者への男女の視点を啓発する

◎検討しているという段階であったので、評価はCとした。

2-3-3-6 障害福祉課 障害者スポーツの普及と発展を通じて社会参加を進める

◎判断が難しいところであったが、コロナ禍で実施していないとのことで、評価はCとした。

2-3-4-1 子育て支援課 子どもの自立と社会参加

◎この回答内容だと、子ども全体の事業としては不完全なので、評価はCとした。対象は、幼児だけではないと思う。

2-3-4-3 男女共同参画センター 困難な状況を抱えた子どもへの理解

◎子どもに直接的な事業の実施はしていない。評価はCとする

2-3-4-3 教育指導課 困難な状況を抱えた子どもへの理解

◎回答内にスクールソーシャルワーカーなど言及があったので評価はBにする。

2-3-5-2 福祉総務課 高齢者がいきいきと生活するための支援

◎健康づくりのため活動を365回実施しているとのことでBとした。

3-1-1-1 子育て支援課 性別にとらわれない子育て知識技術の普及

◎どのように性別にとらわれない子育ての知識技術の普及につながるのかわからなかった

3-1-2-3 教育指導課 男女共同参画の視点による隠れたカリキュラムの点検と改善

◎ジェンダーの視点が少ない。「隠れたカリキュラム」は普段、指導している中では気付けないところである。男女共同参画センターの出前講座が実施されると良い。ジェンダーの視点からの回答が全体的に少ない。

事務局：市内公立小中学校校長会で「子どものためのガイドブック」も紹介して、「出前講座も、ぜひ実施したい」という意見を伝えた。

3-2-1-2 教育指導課 学校教育における情報技術向上の推進

◎プランの事業内容を見ると、「自分自身の発信能力を育成」となっているため、この回答では、発信能力が育成されたかわからない。SNSの利用方法なども現状に合わせて取組んでほしい。

3-2-1-3 男女共同参画センター 情報受発信能力の育成

◎男性の参加も期待する。講座の中だけの勉強は狭くなるので、市民の方への啓発を担ってほしい。

3-2-2-1 シティプロモーション課 市の広報等における男女平等視点の導入

◎男女以外にもいろんな性のあり方を考慮してほしい。

3-2-2-2 シティプロモーション課 市の広報刊行物等における男女平等の視点と参画の推進

◎「男女平等の視点を配慮する」となっているが、この回答からは読み取れない。刊行物はガイドマップに限らない。作成に男女同数が関わるなど取組みの記述がない。

◎印刷物に気を付けてほしい。性別役割分担を助長するようなイラストを掲載しないなど、男女平等の視点到配慮して作ったという説明ができていない。説明がないということは、実施していないのでは。評価はCでも良い。

3-3-1-1 審議会や各種委員会等への女性の登用の推進（全体を通して）

◎去年と比べて評価した。充て職については男性が非常に多い。

◎政策や方針への女性参画が遅れている。課題だと思う。全体的に女性が少ない。欠員が生じている。改選があるところでは、女性を登用してほしい。きよせ市民まつり実行委員会は女性が少ない。女性の視点を反映させる工夫もほしい。具体的にどうしているか書いてある課の評価はBとした。

◎「充て職だから男女比率は調整するものではない」で終わるのではなく、なるべく女性を選出してほしいという要望をしてほしい。

◎特定の人だけの意見を反映することのないようにしてほしい。障害のある人やLGBTQの視点も考慮してほしい。

3-3-3-4 福祉総務課 災害時要援護者対策の充実

◎前年度の回答と比較した。それぞれの登録した方の個別支援計画を作成してほしい。避難所では女性が男性に指示する、くらいにならなければいけない。

4-1-1-1 男女共同参画センター 国や都との連携

◎新市長に男女共同参画センターから男女平等について情報提供してほしい。東京都の市長会で男女平等推進について貢献していただきたい。

4-1-2-2 男女共同参画センター 男女別統計による住民ニーズの把握

◎性別統計を実施する場合「女性・男性・そのほか」であったが「女性・男性・無回答・自由記述」にしたらどうか、と提案があった。

委員長：提案としては、自認する性で回答するということか？

◎統計については、完全な自由記述は難しいと思う。ジェンダー統計で性別は重要な項目となる。調査に統計を利用することもある。

◎自由記述欄とするならば、どうやって書けばよいか。書く人に分かりやすくLGBTQのための欄だと認識していただくには、どうすればよいか。

事務局：調査の性別統計については、義務化することは難しい。調査によっては自由記述の項目も利用してもらおう、というスタンスになると思う。

◎アンケートや調査の際に回答する性別については、自由記述で工夫すると良い。男女平等の視点をいれていただきたい。

4-1-3-1 男女共同参画センター 男女平等推進プランの推進

◎どのような意見があったのか、庁議でどのような話し合いがあったのか、わからない。具体的な回答を期待したい。

3. 次回会議へ向けての準備について

事務局：男女平等推進プランは10年間のプランとなっているが、10年間のスパンではとても長いので、中間で見直しがある。次年度がちょうどそのタイミングである。見直しといっても別のものに変えてしまうというのではなく、現状にそぐわないもの、終了したものをみていただく。目標指標もあるので、どのくらいまで達成しているのか、すでに目標達成しているものなど、それも含めて見直しをしていっていただ

きたい。今回の評価決定後、各課からの回答を依頼するので、PDCAサイクルがより、うまくいくのではないかと考えている。

◎昨年と同じコメントもいくつかの課で見かける。この男女平等推進プランがうまく回っていないのではないかと、どういう風にアクションとったか、仕組み作りを考えた方がいいのではないかと。

事務局：中間見直し、文言を直すということではなく、仕組みだとか、重点的にやってほしいことを次回、話し合いたいと思っている。

◎評価を受けて、やる気がなくなる部分もあるのではないかと。事業実施の担当課に男女平等推進委員が寄り添って行くようなコメントを書かなければいけないと思う。

◎このプランを見ると、男女共同参画センターのやるべき事業が多すぎないか。男女共同参画センターがすべてやるというのではなく、ほかの課を動かしていかなければいけない。ジェンダー平等は5年前より強く認識されてきている。各課との連携・研修・打ち合わせが大事なかもしれない。男女共同参画センターの動き方も盛り込まなければいけない。

◎男女共同参画センターに頼るのではなく、各課でもジェンダー視点を取り入れて事業をやらざるを得ない時に来ていると思う。

委員長：ジェンダー平等の視点で事業を実施すると評価が上がる。各課ももう少し意識いただきたい。

次回会議日程

令和5年1月31日（火）午前10時～正午

以上